

**〈付属資料〉
調査票**

1. はじめに、貴社の概要についてお聞きします。

問 1-1 貴社の創業年を記入してください。

西暦

 年

問 1-2 貴社の最も売上高の多い事業の業種 1 つに○をつけてください。

1 建設業	2 製造業	3 電気・ガス・熱供給・水道業	4 情報通信業
5 運輸業	6 卸売・小売業	7 金融・保険業	8 不動産業
9 飲食店、宿泊業	10 医療・福祉	11 教育・学習支援	12 サービス業
13 その他 ()			

問 1-3 貴社には労働組合がありますか？ (1 つに○)

1 ない	2 ある
-------------	-------------

付問 1 【労働組合がある場合】
正社員以外の社員も加入していますか？ (1 つに○)

1 いいえ (いない)	2 はい (いる)
--------------------	------------------

問 1-4 現在、貴社の正社員数・非正社員数は、男女別および 40 歳未満の女性で何人ですか？
 (派遣、請負社員は除きます)

また、非正社員のうち「雇用期間に定めのある非正社員 (有期契約社員)」は、男女別および 40 歳未満の女性で何人ですか？

該当者がいない場合は「0」(ゼロ)と記入してください。

	男 性	女 性	(40 歳未満の女性)
1) 正社員数	人	人	()人
2) 非正社員数 (派遣、請負社員を除く)	人	人	()人
3) 非正社員のうち 雇用期間に定めのある非正社員数 (有期契約社員数)	うち 人	うち 人	うち ()人

※「雇用期間に定めがある非正社員 (有期契約社員)」とは、たとえば、「3ヶ月」「6ヶ月」「1年」のように雇用期間を決めた契約で直接雇用している非正社員をいいます。ただし、日々雇われている労働者、派遣労働者、請負労働者を除きます。
「契約社員」、「契約パート」、「嘱託社員」と呼ばれていることが多いです。

問1-5 現在、貴社には小学校入学前の子どものいる社員はいますか？次の社員の区分ごと男女ごとに1つ○をつけてください。

	男 性			女 性		
	いない	いる	該当の社員がいない	いない	いる	該当の社員がいない
1) 正社員	1	2	3	1	2	3
2) 非正社員	1	2	3	1	2	3
3) 非正社員のうち 雇用期間に定めのある非正社員 (有期契約社員)	1	2	3	1	2	3

(注：この社員の分け方は問1-4と同じです)

問1-6 貴社の正社員の平均年齢と平均勤続年数をご記入ください。

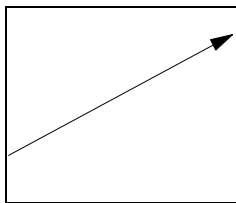
	男 性		女 性	
1) 正社員・平均年齢	平均	歳	平均	歳
2) 正社員・平均勤続年数	平均	年	平均	年

問1-7 貴社には、女性の役職者、管理職がいらっしゃいますか？次のうち、あてはまる職すべてに○をつけてください。いらっしゃらない場合は「1 いない」に○をつけてください。

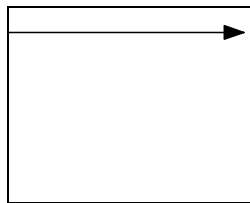
1 いない	2 社長・代表	3 役員	4 部長・課長相当職
-------	---------	------	------------

問1-8 過去3年間の貴社の業況は次のどれにあたりますか？次のうち、あてはまるもの1つに○をつけてください。

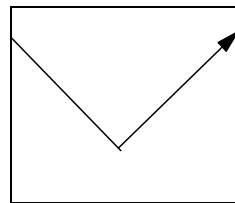
1 上昇傾向



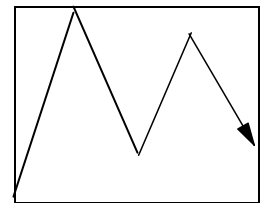
2 高位安定



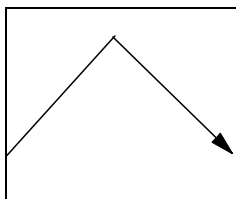
3 下降後、上昇



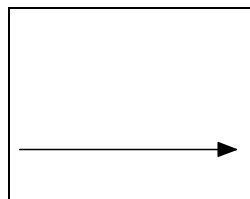
4 上下の変動大



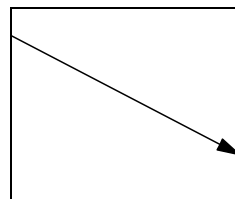
5 上昇後、下降



6 低位安定



7 下降傾向



問1-9 次にあげる項目について、同業種・同規模の他社と比較すると、貴社は過去3年間、どの程度の成果をあげていますか？次のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	相当 上回っている	やや 上回っている	ほぼ同じ 程度である	やや 下回っている	相当 下回っている
1) 売上高	1	2	3	4	5
2) 生産性	1	2	3	4	5
3) 利益率	1	2	3	4	5

2. 次に人事労務管理についてお聞きします。

問2-1 過去3年間、貴社では、正社員の採用（新卒・中途）についてどのような状況でしたか？男女別にあてはまるもの1つに○をつけてください。

	ほぼ全員 新卒採用だった	新卒採用が多いが、 中途採用もいた	中途採用が多いが、 新卒採用もいた	ほぼ全員 中途採用だった
1) 男性・正社員	1	2	3	4
2) 女性・正社員	1	2	3	4

問2-2 過去3年間、次のような女性の正社員の退職者がいましたか？次のそれぞれについて1つに○をつけてください。また、退職者がいた場合、何人（くらい）だったか、人数をお答えください。該当する（結婚、妊娠、出産した）女性正社員がいなかった場合は、それぞれ「**3** 該当する女性正社員はいなかった」に○をつけてください。

	退職者は いなかった	退職者が いた (人数)	該当する 女性正社員は いなかった
1) 結婚で退職した女性の正社員	1	2 → ()人	3
2) 妊娠中、出産を機に 退職した女性の正社員	1	2 → ()人	3

問2-3 貴社では、正社員の長期安定雇用について、どのようにお考えですか？次のうち、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| <p>1 長期安定雇用は、今後もできるだけ多くの従業員を対象に維持していきたい</p> <p>2 長期安定雇用は、対象者を限定したうえで維持していきたい</p> <p>3 長期安定雇用の維持は、経営における優先的な課題ではない</p> |
|--|

問2-4 貴社では、正社員の定年制がありますか？（1つに○）

1 なし	2 あり
------	------

【定年制がある場合】

付問 定年以降の雇用継続や再雇用をしていますか？
（1つに○）

1 していない	2 している
---------	--------

問2-5 貴社には、次のような人事・労務管理上の制度・しくみがありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 賃金表	6 人事評価者への訓練（考課者訓練）
2 定期昇給制度	7 人事評価結果の本人への開示
3 賞与制度	8 職能資格制度
4 退職金制度	9 苦情処理制度
5 人事評価制度	10 その他（ ）

問2-6 貴社では過去3年間、基本給について、次のような賃金制度の改革を行ってきましたか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 年俸制の導入	6 職務給・役割給などの導入
2 定期昇給の縮小・廃止	7 能力給部分の拡大
3 年齢給の縮小・廃止	8 市場の賃金水準や相場との連動を強化
4 昇給幅の拡大	9 家族手当等の生活手当の基本給組み入れ
5 業績給・成果給などの導入	10 退職金の基本給組み入れ

問2-7 貴社では、年齢や勤続よりも、仕事の成果や業績を重視するような成果主義人事制度を導入していますか？（1つに○）

1 導入していない → 次のページの間2-8へ	2 導入している
-------------------------	----------

付問1 【導入している場合】最初に導入した時期は何年ですか？

西暦

--	--	--	--

 年

付問2 【導入している場合】貴社で導入している成果主義人事制度の対象となっているのは次のどの層ですか？あてはまる層すべてに○をつけてください。

1 社長、役員などの経営トップ層	5 一般正社員層
2 部長層	6 パートタイマー等の非正規社員
3 課長層	7 その他（ ）
4 係長層	

<回答が終わりましたら、次のページの間2-8へお進みください>

【すべての企業にお聞きします】

問2-8 貴社では、一般正社員（一部また全員）に裁量労働制を導入していますか？（1つに○）

1 導入していない	2 導入している
------------------	-----------------

問2-9 貴社では、現在次のような取り組みをしていますか？次のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	積極的に 取り組んでいる	ある程度 取り組んでいる	取り組んで いない
1) 正社員と非正社員の均衡処遇の推進	1	2	3
2) コンプライアンス（法令遵守）の強化	1	2	3
3) 男女均等処遇（女性の活躍）の推進	1	2	3

問2-10 貴社では、過去3年間、仕事や職場において、次にあげるような変化がありましたか？
次のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	あて はまる	どちらとも いえない	あて はまらない
1) 部門を越えた社員間のコミュニケーションが活発になった	1	2	3
2) 社内における意思決定のスピードが上がった	1	2	3
3) 仕事の進め方において社員の裁量が増大した	1	2	3
4) 進捗管理が厳しくなった	1	2	3
5) 社員の間での競争意識が高まった	1	2	3
6) 社員の仕事に対する意欲が高まった	1	2	3
7) 若年層（若手）の育成に手が回らなくなった	1	2	3
8) 職場で協力し合う雰囲気なくなった	1	2	3
9) 仕事のできる人に仕事が集中するようになった	1	2	3
10) 残業が増えるなど、労働時間が増加した	1	2	3
11) 精神的ストレスを訴える社員が増加した	1	2	3
12) 自己都合で離職する社員が増加した	1	2	3

3. 育児・介護休業、両立支援制度、ワーク・ライフ・バランス施策についてお聞きします。

問3-1 貴社には、育児休業制度の規定がありますか？（1つに○）

（*「規定がある」とは、就業規則等により制度が明文化されている場合をいいます）

1 規定なし → 次のページの間3-2へ 2 規定あり
--



<問3-1で規定がある場合に記入してください。それ以外の方は次のページの間3-2へ>

1) 貴社が育児休業制度を 最初に 導入したのは西暦何年ですか？	西暦（ ）年
2) 最も長く取得した場合の期間は、子どもが何歳までですか？ （1つに○）	1 1歳6か月まで 2 1歳6か月を超え3歳未満 3 3歳まで、またはそれ以上
3) 子ども1人につき、何回まで取得できますか？（1つに○）	1 1回 2 2回以上または制限なし
4) 1歳以降の育児休業を取得する場合に、どのような要件をつけていますか？（1つに○） *法の要件は下の注1の通りです	1 法定どおり（注1） 2 法と異なる要件を設けている 3 特に要件を設けていない

（注1）

1歳6か月まで育児休業ができるのは、次の(1)、(2)のいずれかの事情がある場合です。(1)保育所に入所を希望しているが、入所できない場合 (2)子の養育を行っている配偶者であって、1歳以降子を養育する予定であったものが、死亡、負傷、疾病等の事情により子を養育することが困難になった場合。

<1) から4) までの回答が終わりましたら、次のページの間3-2へお進みください>

【すべての企業にお聞きします】

問3-2 貴社では、次の表にある社員の区別に、

- ①平成17年4月1日～平成20年3月31日の期間に、出産した社員（男性は配偶者が出産した社員）は何人いましたか？（※死産された方も含みます）
- ②①のうち平成20年9月1日までに、育児休業を開始した人数は何人ですか？
- ③また、①のうち出産後平成20年9月1日までに、退職した女性社員は何人ですか？

※現在規定がなくても、社員からの申し出により取得させた場合もお答えください。

該当者がいない場合は「0」（ゼロ）と記入してください。

		① 平成17年4月1日 ～平成20年3月31 日の間に出産した 社員の数 (男性は配偶者が 出産した社員の数)	② ①のうち 平成20年9月1日 までの間に育児休 業を開始した社員 の数	③ ①のうち 出産後平成20年9 月1日までに退職 した女性社員の数
(注：女性社員の分け方は 問1-4と同じです)				
女性	1) 正社員	人	人	人
	2) 非正社員	人	人	人
	3) 非正社員のうち 雇用期間に定めのある 非正社員（有期契約社員）	人	人	人
男性	1) 正社員	人	人	

・育児休業を開始した社員がいた場合、下の問3-3へ進んでください。

・育児休業を開始した社員がいなかった場合は、次のページの問3-4へ進んでください。

【育児休業を開始した社員がいた場合】

問3-3 貴社では、育児休業取得者がいたときに、取得者が担当していた業務をどのように処理しましたか？次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 代替要員は補充せず、同じ部署の他の社員で対応した
- 2 社内の他の部署から人を異動させた
- 3 社外から人員を補充した（派遣労働者、アルバイトなど）
- 4 その他（ ）

<問3-3の回答が終わりましたら、次のページの問3-4へお進みください>

問3-7 貴社には、介護休業制度の規定がありますか？（1つに○）

（*「規定がある」とは、就業規則等により制度が明文化されている場合をいいます）

1 規定なし	2 規定あり
--------	--------

↓

<問3-7で規定がある場合に記入してください。それ以外の方は問3-8へお進みください>

1) 貴社が介護休業制度を <u>最初に</u> 導入したのは西暦何年ですか？	西暦（ ）年
2) 介護休業期間の最長限度を教えてください（1つに○）	1 通算93日 2 93日を超え1年未満 3 1年、または1年を超える 4 期間の制限なし
3) 介護休業の回数の制限の条件はどれですか？（1つに○）	1 同一対象家族の同一要介護状態に至るごとに 2 その他（ ） 3 制限なし
付問【3】で1か2とお答えになった方へ その条件で何回まで取得できますか？ 1 1回 2 2回以上または制限なし <付問の回答が終わりましたら下の4)へ>	
4) 介護休業の対象となる家族の範囲に制限はありますか？（1つに○）	1 制限あり 2 制限なし

問3-8 貴社では、平成17年4月1日～平成20年3月31日の間に、介護休業を取得した社員はのべ何人いますか？男女別にご記入ください。（同一社員が期間内に2回利用した場合は、2人と計上してください。ただし、同一社員が期間を継続延長した場合は休業1回として下さい）

※現在規定がなくても、社員からの申し出により取得させた場合もお答えください。

取得者がいない場合は「0（ゼロ）」と記入してください。

女 性	男 性
（ ）人	（ ）人

問3-9 貴社には、介護のための勤務時間短縮等の措置の制度がありますか？次のそれぞれについて1つに○をつけてください。

	なし	あり	制度・規定はないが運用としてある
1) 短時間勤務制度	1	2	3
2) 介護の場合に利用できるフレックスタイム制度	1	2	3
3) 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	3
4) 介護に要する経費の援助措置	1	2	3

問3-10 貴社では、育児・介護休業制度や両立支援策の定着や利用率をあげるために、取り組んでいることがありますか？次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 制度を社内によく周知・PRしている
- 2 両立支援制度について相談を受け付ける専用窓口を設けている
- 3 管理職に両立支援の目的や趣旨を説明し、理解を深めている
- 4 人事・総務担当者に、管理上必要なことを勉強させたり、研修を行っている
- 5 ニーズ調査を行い、社員の意見を聞いている
- 6 組合や従業員組織を通して、社員の意見を聞いている
- 7 社長、役職者が直接、社員の意見を聞いている
- 8 女性の活用とセットで両立支援を進めている
- 9 特に何もしていない

問3-11 貴社では、育児休業や介護休業の取得者の休業期間中の評価をどのようにしていますか？次のうち、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 標準的な評価をつけている
- 2 休職直前の評価を用いている
- 3 休職期間中は最低の評価としている
- 4 休職期間中は評価対象から除外している
- 5 その他 ()
- 6 これまで休業取得者がいない

問3-12 貴社では、育児や介護の短時間勤務制度の利用者に対して、どのような評価を行っていますか？次のうち、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 労働時間が短いため、低くめに評価している
- 2 目標設定を考慮した上で、成果で評価している
- 3 成果で評価し、労働時間の短いことは考慮していない
- 4 その他 ()
- 5 これまで利用者がいない

問3-13 貴社には、次のような休暇制度がありますか？次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 男性社員の配偶者出産休暇 | 4 社会貢献・ボランティアのための休暇 |
| 2 子どもの学校行事・PTA参加休暇 | 5 リフレッシュ休暇 |
| 3 自己啓発のための休暇 | 6 その他 () |

問3-14 貴社は、育児・介護休業制度や両立支援策などのワーク・ライフ・バランスの支援策への取り組みに積極的だと思いますか、あるいは消極的だと思いますか？（1つに○）



【積極的、やや積極的な場合】

付問1 貴社では、育児・介護休業制度や両立支援策などのワーク・ライフ・バランスの支援策は、以下の点でどの程度の効果がありましたか？次のそれぞれについて、あてまるもの1つに○をつけてください。

	あった	ある程度あった	あまりなかった	なかった
1) 出産前後の女性社員の退職が減る、なくなる	1	2	3	4
2) 育児期の女性社員の退職が減る、なくなる	1	2	3	4
3) 女性の新卒採用に効果がある	1	2	3	4
4) 女性の中途採用に効果がある	1	2	3	4
5) 男性の採用に効果がある	1	2	3	4
6) 女性社員の定着率を高める	1	2	3	4
7) 男性社員の定着率を高める	1	2	3	4
8) 女性社員のモチベーションを高める	1	2	3	4
9) 男性社員のモチベーションを高める	1	2	3	4
10) 社員の仕事に対する満足度が向上する	1	2	3	4
11) 社員の時間管理能力が向上する	1	2	3	4
12) 社員のストレスが軽減される	1	2	3	4
13) 社員が働く上での安心感を高める	1	2	3	4
14) 生産性が向上する	1	2	3	4
15) 付加価値の高い製品・サービスの開発につながる	1	2	3	4
16) 顧客や対外的なイメージアップにつながる	1	2	3	4

【消極的、やや消極的な場合】

付問2 貴社が、ワーク・ライフ・バランスの支援策の取り組みに消極的な理由は、次のうちどれにあてはまりますか？次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 具体的にどのようにすればよいのかわからない | 6 子育て期の社員がいない |
| 2 取り組みが面倒 | 7 自社にとってメリットがない |
| 3 人手が不足していて手が回らない | 8 その他 () |
| 4 コスト面の負担にたえられない | 9 特にない |
| 5 法律の範囲内で制度を設けており、それ以上は困難 | |

4. 貴社の労働時間、休暇などについてお聞きします。

問4-1 貴社の一般正社員（係長以上の管理職や短時間勤務者を除く）の週あたりの所定労働時間は週何日、週何時間ですか？人によって異なるときは、最も多くの正社員にあてはまる日数と時間をお答えください。また、所定外労働時間（残業）は、平均的に週何時間くらいですか？

- 1) 所定内労働時間 <記入例>週5日 週40時間 2) 所定外労働時間（残業時間）

週（ ）日 週（ ）時間 平均的に週（ ）時間くらい

問4-2 貴社の正社員の有給休暇制度をお知らせください。

- 1) 正社員の年間の有給休暇の付与日数は何日ですか？

（※勤続年数によって変わる場合は、入社10年の付与日数）

年間（ ）日

- 2) 全正社員の平成19年度の平均取得日数は何日でしたか？

平均（ ）日

問4-3 貴社では、労働時間を短くするための次のような取り組みを行っていますか？次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 労働時間の適正化に向けた仕事の役割・分担の見直し | |
| 2 ノー残業デーの実施 | |
| 3 退勤時刻の際の終業の呼びかけ | |
| 4 長時間労働の者やその上司に対する注意や助言 | |
| 5 専門家による健康問題やメンタルヘルスなどに関する相談サービス | |
| 6 有給休暇等の取得推進の取り組み | |
| 7 業務の外部委託の推進 | |
| 8 その他 () | |
| 9 特に取り組んでいない | |

5. 「一般事業主行動計画」についてお聞きします。

問5 貴社では、企業全体の取り組みとして、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定していますか？（1つに○）

- | | |
|-----------|----------|
| 1 策定していない | 2 策定している |
|-----------|----------|

付問1【策定している場合】貴社では、次のような方法で、一般事業主行動計画を公表していますか？次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 「両立支援のひろば」（注）に登録している |
| 2 「両立支援のひろば」以外のインターネットやマスコミを通じて公表している |
| 3 その他の方法で公表している |
| 4 公表していない |

（注）「両立支援のひろば」とは厚生労働省と（財）21世紀職業財団が開設した、仕事と家庭の両立支援を積極的に進めている企業の取り組みや次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画等を掲載したインターネット・サイト（<http://www.ryouritsushien.jp/>）です。

問6 このアンケートにご回答いただいた方の役職に○をつけてください。（1つに○）

- | | | |
|---------|-------------------|-------|
| 1 社長・代表 | 2 役員・管理職（課長相当職以上） | 3 その他 |
|---------|-------------------|-------|

これで質問は終わりです。調査結果の要約の送付を希望される方は、まとめて次第送付させていただきますので、お手数ですが、下記にご記入の上、返送をお願いいたします。

また、当機構では、雇用管理と両立支援に関する従業員調査を別途準備しております。厚かましいお願いではございますが、従業員調査に協力してもよいとお考えの場合は、その欄に○をつけてください。

・ 結果の要約の送付

1 希望する

2 不要である

・ 従業員調査

1 協力してもよい

2 協力しない

※結果の要約をご希望、または従業員調査へのご協力いただける場合は、下記にご連絡先をご記入いただき、キリトリ線より切り取ってご回答いただいたアンケート調査票とともに同封してください。

貴社名	
部署名 (任意)	
ご担当者名 (任意)	
メールアドレス (任意)	
TEL (任意)	
送付先住所	〒

**長い間ご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて返送をお願いいたします。**

中小・中堅企業の雇用管理と両立支援に関する調査

(従業員調査票)

(記入上の注意)

- 1 特に断りのない限り、平成 21 (2009) 年 9 月現在の状況について記入してください。
- 2 調査票の記入は、黒のペン又はボールペンで記入してください。
- 3 特に断りのない限り、該当する番号を 1 つ選んで○をつけてください。
- 4 回答欄が () や のものは、該当事項及び該当数字を記入してください。
- 5 数字を記入する場合は、右づめで記入してください。
- 6 派遣労働者の方は、恐れ入りますが、勤務先・職場に関する質問は、人材派遣会社ではなく、この調査票を受け取った会社のことについて記入してください。
- 7 記入の終わりました調査票は、**9月25日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて返送してください。
- 8 調査結果をご希望の方には、まとめ次第、結果の要約を無料で送付いたしますので、この調査票の最終ページの記入欄に、必要事項を記入してください。

■調査票の送付・回収（調査票の内容、記入方法に関するお問い合わせ）

省略

■調査実施（調査の趣旨に関するお問い合わせ）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

(お問い合わせ先)

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23 URL <http://www.jil.go.jp/>

TEL : 03-5991-9092 FAX : 03-5991-5710 E-mail rjnak@jil.go.jp

担当 就業環境・ワークライフバランス部門 主任研究員 中村良二

1. 最初に、あなた自身や勤務先のことについてお聞きします。

問1-1 [性別] 性別を記入してください。(1つに○)

1 男性	2 女性
-------------	-------------

問1-2 [年齢] 2009年9月1日現在の満年齢を記入してください。

		歳
--	--	---

問1-3 [配偶者の有無] あなたには配偶者(夫または妻)がいらっしゃいますか？(1つに○)

1 いる	2 いない(問1-4へ)
-------------	---------------------

【配偶者が「1 いる」とお答えになった方のみにお聞きします。】

付問 [配偶者の就業形態] 配偶者はどのようなお仕事をしていますか？
(1つに○)

1 仕事をしていない
2 正社員、公務員
3 非正規社員(パート、アルバイト、契約社員等)
4 派遣労働者
5 自営・自由業(家族従業者、内職を含む)
6 その他()

問1-4 [子どもの有無] あなたのお子さんはいらっしゃいますか？(1つに○)

1 いる	2 いない
-------------	--------------

問1-5 [就業形態] あなたの就業形態は、次のどれにあたりますか？(1つに○)

1 正社員、正規従業者
2 パートタイマー、アルバイト
3 嘱託社員、契約社員
4 派遣労働者
5 その他()

付問 [役職] 勤務先でのあなたの役職は次のどれにあたりますか？(1つに○)

1 一般社員	4 部長クラス
2 係長・主任	5 役員以上
3 課長クラス	6 その他()

(注) 派遣労働者の方は、恐れ入りますが、次頁以降の質問は、人材派遣会社ではなくこの調査票を受け取った会社のことについて、記入してください。

問1-6 [勤務先の業種] 勤務先の業種は次のうちどれにあたりますか？（1つに○）

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 建設業 | 7 金融・保険業 |
| 2 製造業 | 8 不動産業 |
| 3 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9 飲食店、宿泊業 |
| 4 情報通信業 | 10 医療・福祉 |
| 5 運輸業 | 11 教育・学習支援 |
| 6 卸売・小売業 | 12 サービス業 |
| | 13 その他（ ） |

問1-7 [勤務先企業の従業員数] 勤務先の企業規模は企業全体で次のうちどれにあたりますか？（1つに○）

- | | | | | | |
|---------|----------|----------|------------|------------|------------|
| 1 30人未満 | 2 30～49人 | 3 50～99人 | 4 100～299人 | 5 300～499人 | 6 500～999人 |
|---------|----------|----------|------------|------------|------------|

問1-8 [職種] 現在のお仕事の内容は、次のどれにあたりますか？（1つに○）

- | | |
|------------|---|
| 1 農林漁業作業者 | (農耕、家畜の飼育、養殖、造園など) |
| 2 専門・技術的職業 | (医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、放射線技師、保育士、ケアワーカー、社会福祉施設介護職員、栄養士、設計士、測量士、システム・エンジニア、司法書士、教員、僧侶、編集者、音楽家、デザイナー、司書など) |
| 3 管理的職業 | (経営者、会社役員、部長、課長、工場長など) |
| 4 事務職 | (事務全般、企画、会計、経理、営業事務、テレフォンポインター、秘書、窓口業務、フロント、集金、メーター検針員、データ入力、レジ係など) |
| 5 営業・販売職 | (店長、フロアマネージャー、販売員、ガソリンスタンド店員、不動産仲介・売買、外交員、バイヤー、セールス、勧誘など) |
| 6 サービス職 | (ホームヘルパー、理美容師、調理師、ウェイター、ホールスタッフ、ホテル客室係、ビル管理人、パチンコ店店員、レンタル店店員、ツアーコンダクター、案内係、広告ビラ配りなど) |
| 7 保安的職業 | (警備員、監視員、守衛、交通巡視員など) |
| 8 運輸的職業 | (バス・タクシー・トラック運転者、車掌、バスガイド、船員など) |
| 9 通信的職業 | (無線通信技士、電話交換手、集配員など) |
| 10 技能工・労務職 | (組立・修理工、金属加工・溶接工、食品製造工、印刷・製本作業、電気工事業者、建設・土木業者、倉庫業者、宅配便ドライバー、新聞配達員、商品陳列員、清掃員など) |
| 11 その他（ | ） |

問1-9 [勤務先の近年の経営状況] 現在の勤務先の近年の経営状況は、あなたからみてどうでしょうか？（1つに○）。

- | | | | | |
|------|--------|------------|--------|------|
| 1 良い | 2 まあ良い | 3 良くも悪くもない | 4 少し悪い | 5 悪い |
|------|--------|------------|--------|------|

問1-10 [勤務先の経営方針の周知] 現在の勤務先は、会社または社長が従業員に、会社の経営方針をきちんと伝えていると思いますか？（1つに○）

1 きちんと伝えていると思う 2 伝えていると思う 3 伝えていないと思う

問1-11 [勤務先の通勤時間] 勤務先までの通勤時間はどのくらいですか？（1つに○）

1 10分未満 2 10～30分未満 3 30～60分未満 4 60～90分未満 5 90分以上

問1-12 [採用形態] 現在の勤務先には、どのような形で採用されましたか？（1つに○）

1 新卒採用 2 派遣会社からの派遣 3 関連会社等からの出向 4 中途採用／再雇用（1、2、3以外の方は「4 中途採用／再雇用」としてください）

【問1-11で2、3、4とお答えになった方にのみお聞きします】

付問 あなたは、結婚や出産を機に、または、家事・育児・介護に専念するため、働くことをやめたこと（無職になったこと）がありますか？（1つに○）

1 ある 2 ない

問1-13 [勤続年数] 現在の勤務先での勤続年数は約何年ですか？

（出向や転勤中の方は企業グループ全体での勤続年数でお答えください。）

約 年

※5ヶ月以下は切り下げ、6ヶ月以上は切り上げてください。
（例 3年5ヶ月は約3年。3年6ヶ月は約4年）

問1-14 [労働組合の有無] 現在の勤務先には労働組合がありますか？（1つに○）

1 ある 2 ない

問1-15 [労働組合加入の有無] あなたは労働組合へ加入していますか？（1つに○）

1 加入している 2 加入していない

問1-16 [昨年1年間の年収] あなたの勤務先での昨年1年間の税込み年収はどのくらいでしたか？昨年現在の勤務先で働いておられなかった方は、昨年1年の税込みの勤労年収をお答えください。（1つに○）

1 100万円未満 2 100～200万円未満 3 200～300万円未満 4 300～400万円未満 5 400～500万円未満 6 500～600万円未満 7 600～700万円未満 8 700～800万円未満 9 800～900万円未満 10 900～1,000万円未満 11 1,000万円以上

2. あなたの勤務先や職場、あなたの働き方に関することなどについて、お聞きします。

問2-1 あなたは、次のような人事制度を適用されていますか？

(1) 目標管理制度 (1つに○)

- 1 適用されている 2 適用されていない 3 そのような制度はない

(2) 業績や成果を賃金に反映する制度 (1つに○)

- 1 適用されている 2 適用されていない 3 そのような制度はない

問2-2 あなたの会社の長期安定雇用に関する考え方は、以下のうち、どれが最も近いと考えますか？ (1つに○)

- 1 今の会社は、長期安定雇用をできるだけ多くの社員を対象に維持していく方針である
2 今の会社は、対象者を限定して長期安定雇用を維持していく方針である
3 今の会社では、長期安定雇用は経営上の優先課題ではない
4 わからない

問2-3 あなたの会社では、社員教育・人材育成に力を入れていると思いますか？ (1つに○)

- 1 力を入れていると思う
2 どちらかといえば、力を入れていると思う
3 どちらかといえば、力を入れていないと思う
4 力を入れていないと思う
5 わからない

問2-4 あなたの今後のキャリアについて、今のお考えに最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

- 1 今の会社でできるだけ長く働き続けたい (途中、中断があっても)
2 いずれは他社へ転職したい (途中、中断があっても)
3 いずれは独立・開業したい
4 家事、育児、介護に専念するため、いずれは働くことをやめてしまいたい
5 わからない

【問2-4で1、2とお答えになった方のみにお聞きします】

付問 あなたは今後どのようなキャリアをきずいていこうとしていますか？
次の中からあなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。
(1つに○)

次のページへ

- 1 管理職として働けるまで働きたい
2 自分の専門能力や特殊能力を活かして働けるまで働きたい
3 地位や仕事にとらわれず長く働きたい
4 特に希望はない

次のページへ

問2-5 あなたの会社または職場では、現在次のような取り組みをしていますか？ 次の(1)～(3)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	積極的に 取り組んで いる	ある程度 取り組んで いる	取り組んで いない	わからない
1) 正社員と非正社員の均衡処遇の推進	1	2	3	4
2) 男女均等処遇（女性の活躍）の推進	1	2	3	4
3) ワーク・ライフ・バランスの推進	1	2	3	4

問2-6 あなたの会社では、過去3年間、仕事や職場において、次にあげるような変化がありましたか？ 次の(1)～(12)それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※3年前に現在の会社に勤めていなかった場合は、現在の会社に勤め始めてから現在までの変化について答えてください。

	あて はまる	どちらともい えない	あて はまらない
1) 部門を越えた社員間のコミュニケーションが活発になった	1	2	3
2) 社内における意思決定のスピードが上がった	1	2	3
3) 仕事の進め方において社員の裁量が増大した	1	2	3
4) 進捗管理が厳しくなった	1	2	3
5) 社員の間での競争意識が高まった	1	2	3
6) 社員の仕事に対する意欲が高まった	1	2	3
7) 若年層（若手）の育成に手が回らなくなった	1	2	3
8) 職場で協力し合う雰囲気なくなった	1	2	3
9) 仕事のできる人に仕事が集中するようになった	1	2	3
10) 残業が増えるなど、労働時間が増加した	1	2	3
11) 精神的ストレスを訴える社員が増加した	1	2	3
12) 自己都合で離職する社員が増加した	1	2	3

3. あなたの労働時間や休暇についてお聞きします。

問3-1 あなたは、勤務先でどのような勤務時間制度を適用されていますか？（1つに○）

- | |
|---|
| <p>1 通常の勤務時間制度（以下の2～6に該当しない場合）</p> <p>2 フレックスタイム（一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できるもの）</p> <p>3 変形労働時間制（一定の期間だけ勤務時間が異なるもの。例 4週6休）</p> <p>4 交替制（昼シフト、夜シフトなど）</p> <p>5 裁量労働制・みなし労働（法律上の適用を受ける専門職、営業職、企画職等をいいます）</p> <p>6 時間管理なし（裁量労働制・みなし労働時間以外で、管理職などの場合）</p> |
|---|

問3-2 あなたは今年（2009年）に入って、ふだん、1週間あたり約何日勤務していますか？

1週あたり約

日勤務

（例）1週あたり約 **5** 日勤務

問3-3 あなたは今年（2009年）に入って、ふだん、残業時間を含めて、1週間あたり約何時間くらい働いていますか？（*残業手当などの有無にかかわらず、業務に関係する実際に働いた残業や休日出勤、自宅での作業時間などをすべて含めてください。ただし副業は含みません）

残業を含めて
1週あたり約

時間くらい

（例）残業を含めて1週あたり約 **4 2** 時間

※30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてください。

（例 42時間20分→42時間、42時間30分→43時間）

問3-4 問3-3でご回答いただいた週労働時間のうち、残業時間は、1週間あたり約何時間くらいですか？ 残業がない場合は「0時間」としてください。（*残業手当などの有無にかかわらず、業務に関係する実際に働いた残業や休日出勤、自宅での作業時間などをすべて含めてください。ただし副業は含みません）

1週あたり約

時間くらい

（例）1週あたり約 **10** 時間くらい

※30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてください。

（例 10時間20分→10時間、10時間30分→11時間）

問3-5 あなたのお仕事は、次のような働き方をすることがありますか？ 次の（1）～（3）それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	いつも している	ときどき している	あまり していない	まったく していない
1) 所定労働時間を超えて働くこと（残業）	1	2	3	4
2) 日曜日や祝日の勤務	1	2	3	4
3) 自宅に仕事を持ち帰り行うこと	1	2	3	4

問3-6 あなたの現在の労働時間は、1年前と比べて変わりましたか？（1つに○）
 （※1年前に別の勤務先で働いていらした方は、その勤務先での労働時間と比べて下さい。）

- 1 増えている 2 変わらない 3 減っている 4 1年前は無職または休業中だった

問3-7 あなたは、今の仕事で自分の仕事のスケジュールや手順の決定についてどの程度、裁量度があると思いますか？（1つに○）

- 1 かなりある 2 ある程度ある 3 あまりない 4 ほとんどない

問3-8 現在のあなたの労働時間に対する考えは次のうちどれですか？（1つに○）

- 1 もっと長くしたい 2 適当な長さである 3 もっと短くしたい

【「3 もっと短くしたい」と答えた方のみにお聞きします。】

付問1 どのようにして減らしたいですか？次のうち、あなたのお考えに近いものを1つお答えください。（1つに○）

- 1 1日の就業時間を減らしたい
 2 休日・休暇を増やしたい
 3 1と2の両方
 4 わからない

付問2 仕事の時間を減らした結果、収入が減ってもよいですか？（1つに○）

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

問3-9 昨年度（2008年度）のあなたの年次有給休暇（前年度からの繰り越し分も含む）は、年何日付与されておりましたか？また、そのうち何日使いましたか？

年		日のうち		日取得した
---	--	------	--	-------

（※昨年、別の勤務先で働いていた、仕事をしていなかった、休業中だった方は、日数は回答しなくてもけっこうです）

問3-10 あなたの会社や職場では、労働時間を短くするための次のような取り組みを行っていますか？次の（1）・（2）にそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	やっている	やっていない	わからない
1) 労働時間の適正化に向けた仕事の役割・分担の見直し	1	2	3
2) 長時間労働の者やその上司に対する注意や助言	1	2	3

4. 育児と仕事の両立についてお聞きします。

問4-1 あなたには小学校入学前のお子さんがいらっしゃいますか？（1つに○）

1 いる **2** いない（→ 問4-2へ）

付問1 一番下のお子さんの年齢は何歳ですか？ お子さんがお一人の方は、そのお子さんの年齢をお答えください。

歳

付問2 あなたは、A. これまで育児休業や仕事と育児の両立に関する支援策を利用したことがありますか？（または、現在利用していますか？）[*勤務先に制度があるかないかは関係なく]
 またB. 育児休業以外の支援策について、今後もし利用できるとすれば、利用したいですか？
 （現在利用している方は、今後も利用し続けたいですか？）

各支援策(1)~(6) について、AとBそれぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	A. 利用経験			B. 利用希望	
	現在の勤務先で利用した(している)	以前の勤務先で利用した	利用したことはない	利用したい(し続けたい)	利用しなくてもよい
1) 育児休業	1	2	3	/	
2) 短時間勤務（労働時間を短くする）	1	2	3	1	2
3) 育児のためのフレックス・タイム（出勤・退勤時間を従業員が決める）	1	2	3	1	2
4) 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ（労働時間は同じだが、例えば1時間早く出勤する代わりに1時間早く退勤するなど）	1	2	3	1	2
5) 所定外労働の免除（残業や休日出勤をしない）	1	2	3	1	2
6) 子の看護休暇（病気やけがをした小学校就学前の子の看護のための休暇）	1	2	3	1	2

【小学校入学前のお子さんのいらっしゃらない方も、いらっしゃる方もお答えください】

問4-2 現在の勤務先に育児休業制度の規定がありますか？（1つに○）
 （規定があるとは、就業規則等を書いてあることをいいます）

1 規定がある **2** 規定がない **3** わからない（知らない）

問4-3 今後もし、あなたにお子さんが生まれたら、育児休業制度を利用したいと思いますか？
(1つに○)

- 1** 利用したいと思う **2** 利用したいと思わない **3** わからない

問4-4 これまでに現在の職場で、あなた以外で育児休業をとった方がいらっしゃいましたか？
(1) 女性と (2) 男性のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	いた (いる)	いなかった
1) 女性	1	2
2) 男性	1	2

【女性でも男性でも職場に育児休業をとった方がいた方のみお聞きします。それ以外の方は問4-5へ】

付問 育児休業をとった方がいたときに、とった方が担当していた業務をどのように処理しましたか？ 次のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

- 1** 代わりに人は補充せず、同じ部署の他の社員で対応した
2 社内の他の部署から人が異動してきた
3 新しく採用された人がきた (新規採用の正社員、派遣労働者、アルバイトなど)
4 その他 ()

問4-5 現在の勤務先または職場は、従業員が自分のお子さんを職場に連れて来て仕事をするようなことができますか？ (できると思いますか？) (1つに○)

- 1** できる (と思う)
2 場合によってはできる (と思う)
3 基本的にはできない (と思う)
4 できない (と思う)
5 わからない

問4-6 企業が男性の育児休業の取得をすすめるなど、企業が男性従業員の育児参加を促すような取り組みを行うことについて、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

- 1** 企業が積極的に取り組みを行う必要がある
2 企業が何らかの取り組みを行う必要がある
3 男性の育児参加は必要だが、企業が取り組む必要はない
4 そもそも男性の育児参加を進める必要はない
5 わからない

問4-7 育児休業をはじめとする仕事と育児の両立支援に関する次のような点について、あなたはどのように思いますか？ 次の(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	とても そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない
1) 育児休業制度などの仕事と育児の両立支援制度が整備されていると、働いていて安心感がある	1	2	3	4	5
2) 職場で誰かが育児休業を取ると、他の人の仕事の負担が増えるので、大変だ	1	2	3	4	5
3) 職場で誰かが育児休業を取ると、それをきっかけに、仕事の負担や職務の見直しにつながる	1	2	3	4	5
4) 職場で誰かが育児休業を取ると、それをきっかけに、仕事の進め方が効率的になる	1	2	3	4	5
5) 今の職場は融通 <small>ゆうずう</small> がききやすいので、子育てしやすい	1	2	3	4	5

5. 介護と仕事の両立についてお聞きします。

問5-1 現在の勤務先に介護休業制度の「規定」がありますか？(1つに○)
(規定があるとは、就業規則等においてあることをいいます)

1 規定がある	2 規定がない	3 わからない(知らない)
---------	---------	---------------

問5-2 あなたは今後、ご自分のご家族を介護するようになると思いますか？(1つに○)
(現在、家族を介護されている方は、「5すでに、家族を介護している」に○をつけてください)

次のページへ

- 1 近いうちになると思う
- 2 いつかはなると思う
- 3 ならないと思う
- 4 わからない
- 5 すでに、家族を介護している

【家族を介護されている方のみにお聞きします】

付問 次のような仕事と介護の両立支援制度を利用したことがありますか？
あてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

1 介護休業制度	5 残業や休日労働の免除
2 短時間勤務制度	6 介護経費の補助
3 介護のためのフレックスタイム制度	7 在宅勤務
4 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	8 いずれもない

問5-3 今後、ご自分をご家族の介護をすることになっても、今のお仕事を続けるとお考えですか？
 (現在、介護をされている方は、お仕事を続けたいですか？) (1つに○)

- 1 今の仕事を続けると思う (続けたい)
- 2 介護と両立しやすい仕事に変えると思う (変えたい)
- 3 仕事をやめて介護に専念すると思う (専念したい)
- 4 わからない

6. あなたの仕事と生活に関するお考えについてお聞きします。

問6-1 あなたは、現在の仕事に関する以下のような事柄について、どの程度満足していますか？次の
 (1)～(9)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	満足 している	まあ 満足	どちら ともい えない	少し 不満	不満
1) 仕事全体について	1	2	3	4	5
2) 給料・賃金の額	1	2	3	4	5
3) 休日・休暇の日数	1	2	3	4	5
4) 仕事の内容	1	2	3	4	5
5) 自分に与えられた仕事の裁量	1	2	3	4	5
6) あなたに対する評価・処遇	1	2	3	4	5
7) 職場の人間関係	1	2	3	4	5
8) 仕事に役立つ能力や知識を身につける機会	1	2	3	4	5
9) 仕事と家事・育児・介護とのバランス	1	2	3	4	5

問6-2 あなたは、現在の自分の仕事や職業生活に関することで、強い不安、悩み、ストレスとなつてい
 ると感じることがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。
 (すべてに○)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 仕事の量 | 4 配置転換 | 7 定年後の仕事、老後 |
| 2 仕事への適性 | 5 雇用の安定性 | 8 その他 () |
| 3 昇進、昇給 | 6 会社の将来性 | 9 特になし |

問6-3 現在、あなたは、家事／育児／介護と仕事（職業をもって働くこと）の両立について、次のように感じることはありますか？ 次の（1）～（3）のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	よくある	たまにある	あまりない	まったくない
1) 仕事のために、家事／育児／介護ができていないと感じること	1	2	3	4
2) 家事／育児／介護のために、仕事での責任を果たせていないと感じること	1	2	3	4
3) 仕事と家事／育児／介護の両立が難しく、悩むこと	1	2	3	4

問6-4 あなたの仕事（職業をもって働くこと）と家事／育児／介護のバランスに関するお考えについて、最もあてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

- | |
|---|
| <p>1 家事／育児／介護よりも仕事（職業）を優先したい</p> <p>2 両方とも同じくらい関わりたい</p> <p>3 仕事（職業）より家事／育児／介護を優先したい</p> |
|---|

問6-5 あなたの仕事（職業をもって働くこと）と余暇のバランスに関するお考えについて、最もあてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

- | |
|--|
| <p>1 仕事に生きがいを求めており、全力を傾けたい</p> <p>2 仕事に力を入れるが、時には余暇も楽しみたい</p> <p>3 仕事も余暇も同じくらい大切だと考えている</p> <p>4 仕事はなるべく早く片づけて、できるだけ余暇を楽しみたい</p> <p>5 仕事よりも余暇に生きがいを求めたい</p> |
|--|

問6-6 あなたは、現在の生活に関する以下の事らについて、どの程度満足していますか？ 次の（1）～（4）のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	満足している	まあ満足	どちらともいえない	少し不満	不満
1) 自分の健康	1	2	3	4	5
2) 家族と一緒に過ごす時間	1	2	3	4	5
3) 友人・知人と過ごす時間	1	2	3	4	5
4) 趣味などの時間	1	2	3	4	5

これで質問は終わりです。調査結果の要約の送付を希望される方は、まとも次第送付させていただきますので、お手数ですが、下記にご記入の上、返送をお願いいたします。

・結果の要約の送付

1 希望する

2 不要である

※結果の要約をご希望の場合は、このページの下欄にご送付先をご記入いただき、キリトリ線より切り取ってご回答いただいたアンケート調査票とともに返信用封筒に同封してください。

長時間にわたり、ご協力いただきありがとうございました。

返信用封筒(切手はいりません)に入れて、ご返送くださいますよう、
よろしくお願い申し上げます。

【調査結果の要約をご希望の方はご記入ください。下の部分を切り取って、ご回答いただいたアンケート調査票とともに返信用封筒に同封してください。】

(下記の情報は、調査結果の要約の送付以外には使用いたしません。)

----- キリトリ -----

ご住所

〒

ご芳名

様

労働政策研究報告書 No.135

中小企業におけるワーク・ライフ・バランスの現状と課題

発行年月日 2011年5月20日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

(販売) 研究調整部成果普及課 TEL:03-5903-6263

FAX:03-5903-6115

印刷・製本 株式会社相模プリント

©2011 JILPT

*労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)